



学校だより

川崎市立新城小学校

しんじょう

令和6年
4月号

入学・進級おめでとうございます

校長 伊東 芳男

「桜咲き 春のゆうびん とどいたよ」

4月5日、昨夜からの雨も上がり、入学、進級をお祝いするように満開に咲きそろった桜にお祝いされ、令和6年度の学校生活がスタートしました。久しぶりに元気に登校した子どもたちからは「桜きれいだね。春がとどいたね…」、そんなささやき声が聞こえてくるようです。

入学式では、新1年生127名を迎え、元気いっぱい、やる気いっぱいな1年生の姿に、会場全体に笑顔があふれる入学式となりました。

卒業生からリーダーのバトンを引き継いだ新6年生

3月18日、全校児童がそろって卒業生を送る会が開かれました。各学年からは、言葉や歌、応援などにより大好きだった卒業生との別れを惜しむ気持ちが伝えられました。5年生からは、「学校全体のことを思い一生懸命考えてくれた6年生を見て、私もそんな6年生になりたいと思いました。」という言葉が送られ、新城小のリーダーを引き継いでいくことへの思いが伝わってきました。

4月3日、新年度準備のため新6年生が登校しました。入学式の会場準備、新1年生の教室や黒板の飾りつけ、教科書や配付物並べなど、心を込めて一生懸命働く新6年生の姿を見て、令和6年度の6年生もきっと「優しく、かっこよく、そして頼りになる6年生」として下級生に慕われる新城小の新リーダーになってくれるだろうと思いました。

令和6年度 新城小学校は新たな1歩を踏み出します！

令和5年度は、新型コロナウイルスが5類に移行となり、元気に声を出し、笑い合い、歌い合える日常生活が戻ってきましたが、長く続いた感染対応生活からの変更にはじめは戸惑う子どもたちもいました。新城小では、授業や活動、集会など様々な場面で、心と心のつながりを紡ぎ直す活動に取り組みました。交流活動を通して子どもたちには笑顔が戻り、安心して心豊かに学校生活を送ることができるようになりました。

令和6年度は、新城小の基本方針の一つ「心を守る」取り組みを継続しつつ、さらに地域を大事にしながら、身近な課題に目を向けSDGsや新たな創造的な教育活動にも進んで取り組んでいきたいと思ひます。

令和6年度、川崎市は市制100周年の節目を迎えます。私たちのまち川崎市のこれまでや未来に向け、新城小も子どもたちと一緒にSDGsの一環として取り組んでいきたいと思ひます。また、古代の川崎の中心地だった橘樹郡衙遺跡（国史跡）が整備され、建物の復元工事が完成しました。市制100周年や橘樹郡衙などの新しい動きも生かし、新城小は新たな学びに向け1歩を踏み出していきたいと思ひます。保護者の皆様には、今年度も学校と二人三脚で子どもたちとの教育活動を応援してくださいませようよろしくお願いいたします。



☆職員異動のお知らせ☆

【

